

令和3年2月26日

新型コロナウイルス感染の収束について（終報）

2月5日、当法人内施設の南勢カトリック特別養護老人ホームにおきまして、入居者様1名が新型コロナウイルス感染の陽性（三重県発表2324例目）と確認されました。

この件に関しましては、当法人ホームページ等により5回のご報告をさせていただきました。

この期間中、多くの皆様にご迷惑をお掛けし大変申し訳ございませんでした。

また、多くの方々より労いのお言葉をいただきましたこと感謝申し上げます。

お陰様で、陽性者が1名確認されて以降、二人目の新たな感染者が発生することなく本日まで至ることができました。

上記の陽性であった入居者様も全快しご退院となり、2月22日当施設に戻ってみえました。お元気なご様子に一同安堵いたしました。

ここに至るまでの間、多くの職員を欠き乏しい職員体制による運営下であって、入居者の皆様には大変なご迷惑をお掛けしてしまいました。深くお詫び申し上げます。

また、入居者のご家族様には、この間も施設の運営を見守りご理解いただきました。深く感謝申し上げます。

そして、保健所の方々をはじめ多くの皆様にご指導、ご支援をいただきましたお陰により、恐れていた施設の運営崩壊を回避することができました。本当に有難うございました。

今件の発生から本日で3週間を迎えます。当該施設の職員体制やサービス提供等も、ようやく発生前の状態に戻りました。

中止によりご迷惑をお掛けしていましたが、ショートステイ利用につきましても、3月より再開させていただく予定です。

まだまだ安心する訳にはいきませんが、施設運営を平常化していくことも必要でありますのでここに今件についての収束を報じさせていただきます。

今回の経験を忘れることなく、この先も当施設協力医師、松阪保健所等と連携し感染防止対策をしっかりと施しながら、慎重に施設運営を進めて参りますので、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

社会福祉法人聖ヨゼフ会松阪
理事長 古林 睦敏